



おかむら通信 179 号



令和2年3月号

<ご挨拶>

みなさん、様々な事象の動きが騒がしくなっています。コロナウイルスの問題だけではなさそうです。私には、そのほとんどが、後手後手になっていて大騒ぎしているように思えます。本当に、本当の専門家たちが、真摯に問題把握し、解決策をまじめに考え、かつ俊敏に動いているようには見えません。大局的にみても、どこかのおじさんが、口をはさんで、かなり違う方向に持っていっているように見えます。毎日患者さんに接して、一生懸命治療をしようとするドクター達の、それこそ本当の専門の先生たちの行為を無視する権限がどこにあるのでしょうか？

<今月の言葉>

どんとして動かず、つねに平らな考えをもち、まるで菩薩のような存在の方々がいらっしゃいます。でも私は、嘘を垂れ流し、人々を損なう人たちを、まだ許せないでいます。

凡人

<4月からの新体制について>

院長と庸介先生の外来の割り振りです。院長は将来、在宅で患者さんの面倒を見させていただく可能性があります、現在はこのようになります。



外来診療医表						
	月	火	水	木	金	土
午前	院長	院長 (岡村庸介)	岡村庸介	外来診療なし	岡村庸介	院長 (岡村庸介)
午後	院長	院長	岡村庸介		院長	2時~5時 岡村庸介

◇新たに毎週土曜午後14時~17時の外来診療時間が加わります。

◇()のある(庸介先生)の時間枠は、外来診療ではなく、検査担当の枠となります。

◇毎週木曜日は、休診日ではありませんが、全日検査のみとなります。

<院長より>

1 症状がない、これは病気が存在しないことにはなりません。いかにそれこそ先手をうって、将来辛い思いをしないよう、初期の初期にみつかることを私は肝に銘じています。

2 今年は、大腸内視鏡検査が行えるようになります。あたらしい機器が開発され、より安全にできるようになりましたが、一般にだいたい100人にひとりくらいは、腸管を傷ついたり合併症がどうしても存在します。





3 何回もお話しますが、腓負荷(正常から腓炎になるまでの病態をさします)、つまり、たくさんの検査をして、異常なしと診断され、それでも腹痛などの症状が取れない方々がよくおられます。実はよく見るとエコーや CT での所見で微妙な変化があります。

4 当院では、患者さんのカルテの見直しをやっています。今後の方針、診断や治療の再確認、紹介するか、紹介先からのお返事、患者さんの質問事項、何か見逃していないか?など行っております。そう、帰るのが遅くなります…。

5 人間とは、何でしょう。私の人生の中でも、色々なことがありました。生きるとは、まあよく言われることは少ないですね。どんなにがんばっても、戦いですね。

6 病気には、かならず、そのサインがあります。何十と、。お会いしてまず、声・におい・精神状態・気力・皮膚感覚・脈拍・四肢の温度を見ます。診察で身体から各疾病の兆候があふれでてきます。

7 いま1週間に1回打つインシュリンが使われるようになってきました。ただし病状が安定している、きちんと毎日食事をとられている、打つ量を間違えない、などが必要です。HbA1Cが高すぎてなかなか思うようにコントロールができない方には使えるかもしれません。

8 最近、思うこと、コロナウィルス感染において、1週間から2週間もたって、急に病状が悪化するのには、その患者さんがコロナとの長い戦いの末、コロナに勝つことができなくて、ついに自己免疫機能が、がくっと下がり、その時に複合感染が起きるのではないか、別のウィルスたち、それこそ細菌感染をうけて重症化するのでは? 私の考えです。

<2月の院長の活動>



1/ (土) Oncology Emergency ハワイ大学講師 講演会

英語でのスピーチ、質問のみ可

お茶の水

2/ (日) 千葉県胃内視鏡がん検診 勉強会 早期がん中心に

千葉みなと

6/ (木) 糸東流 空手 稽古

馬橋

8/ (土) 糸東流 空手道 新年会

新松戸

11/ (火) クリニック前の道路工事 終日

当院前

13/ (木) 保険医協会/映画会「一粒の麦」日本で初の女性医師の生涯 千葉市

14/ (金) 院内機器設備/内視鏡、CT、XP など画像統合システムの改良について

19/ (水) 松戸市夜間小児急病センター勤務 松戸市総合医療センター

20/ (木) 国際ロータリークラブ: ルーマニア参事官・ドミニカ共和国参事官を迎えて Viorel ONEL氏 Joselyn Saladin氏 柏

28/ (金) 院内機器設備 3月下旬に新規導入決定

新しい
スタッフ
です

先月から入りました宮田京子です
どうぞヨロシクお原厚い致します



古谷